

ぶな

2023年3月号

NO.528



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻頭言

Y O I 夫

初春の天からの送り物(雪)いや^し重^よけ^じ吉事

寒さで目覚めて、ふとカレンダーを眺めると、旧暦の上では
2月3日 節分 「息を追い払って新年を迎える。立春の前日の行事」
2月4日 立春 春が始まる日
2月5日 初午^{はつうま} 春の訪れを祝う稲荷神社のお祭りの日
2月9日 雨水^{うすい} 降雪が雨に変わり水がぬるみ草木の芽が出始めるころ

新暦で春は2月4日から5月4日までとありました。

「春は花」葉が出る前に花をつける梅、桜、桃。

木全体を装う華やかさで、私たちを心躍らせます。

木々が青づく青春の季節の始まりです。

「山笑う」春の山にレッツ GO!

あれから40年、中高年になればどんなスーパーマンであっても
例外なく体の機能は低下し、体力は衰えてくる。昔ほどに足は
進まず手は伸びない。病気があろうがなからうが中高年
になれば「自分の体をよく知ること」が必要となる。

このことは、山での事故を未然に防ぐためにも大切であり、
周囲のアドバイスには素直に耳を傾けるということが、

「安心登山の心の基本」

健康で安全登山も心がけながら、山への情熱を持ち
山登りを長く続けましょう。 千コちゃんからのアドバイス。

<目 次>

「巻頭言」	1
「目 次」	2
【例会山行案内】	
・ ダイトレ最終回（紀見峠～金剛山）（3月26日）	3
・ 鈴鹿・霊仙山（4月9日）	4
・ 八経ヶ岳と行者還岳（5月3日～4日）	5
【例会山行報告】	
・ 唐櫃越（1月21日）	6
【個人山行報告】	
・ 権現山～小女郎ヶ池ピストン（2月5日）	8
【初級登山教室】	
・ 雪山入門「大谷山」（1月14日）	9
【定例会報告】	
・ 第11回運営委員会（1月26日）	14
・ 第12回運営委員会（2月14日）	15
・ 第1回リーダー部会（2月19日）	17
【総会報告】	
・ 第44回定期総会議事録（2月19日）	18
【前期会費等振込のお願い】	16
3月予定表	22

＝ 表紙の写真 ＝

唐櫃越より

2023.1 撮影：K原氏

【例会山行案内】

ダイヤモンドトレイル④(最終回)

紀見峠～金剛山

3年前に計画して行けなかったダイヤモンドトレイル(通称ダイトレ)のコース全長約45kmのうち、今回は最終回となる紀見峠から湧出岳を経て大阪府最高峰の金剛山まで登り、文殊尾根(後半は急坂)で下山後、出来れば河内長野駅前で完歩を祝したいと思います。(参加は自由です)過去3回とも歩かれた方は是非ご参加下さい。

日時 2023年3月26日(日) JR山科駅京都行ホーム5:57集合→6:01に乗ります。

【往路】湖西線(一番電車)→山科で琵琶湖線に乗り換え

新旭—安曇川—近江舞子—志賀—蓬萊—和邇—小野—堅田—唐崎—大津京—山科
5:04 5:08 5:20 5:26 5:29 5:32 5:35 5:38 5:48 5:51 5:56
琵琶湖線 草津—石山—大津—山科 確認のため1本前の電車でお越し下さい
5:33 5:42 5:47 5:51(京都市)

山科(快速網干行)—大阪(環状線内回り乗換)—新今宮(南海電車乗換)—紀見峠

6:01 6:45 1番線 7:00 7:17 7:26(¥650) 8:07 下車

★ JRの時刻は3月に一部改正されるでしょうが、大きな変更は無いと思われま

★ 琵琶湖線の山科からは前から2両目前後にご乗車ください。#大阪からは後部へ

★スムーズに乗り換えできるようにICOCAなどのカードをご用意下さい。

【行程】

トレ 







紀見峠駅—紀見峠—山ノ神—行者杉—千早峠—伏見峠—金剛山—登山口—バス停

8:15 9:00 9:20 11:00(昼食)12:30 14:10 15:00 16:20 16:30

【復路】

(日没 18:07)

金剛山ロープウェイ前—河内長野駅前—南海河内長野—新今宮—大阪—京都

南海バス 16:15 16:56 (例)17:52 18:20/18:24 18:39/18:45 19:14

最終 17:10 17:50 (例)18:44 19:11/19:15 19:32/19:45 20:14

(例)18:56 u19:22/19:29 19:43/20:00 20:29

装備 日帰り装備一式(昼食・水・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプなど)

距離 約18km 時間 約8時間 (コースタイム約7.5時間+昼食休憩30分)

レベル 体力★★★★☆☆ 技術★★☆☆☆☆

担当CL(申込先)N尾

締切日 3月20日(月)

雨天(予報)中止 中止の場合は前日25日13時までに連絡します。

〈例会案内〉

鈴鹿・霊仙山

花の百名山としても人気の鈴鹿・霊仙山に『フクジュソウ』を探しにでかけます。
季節が会えば福寿草のほか「ヒロハアマナ」「キクザキイチゲ」「ミノコバイモ」「ミヤマカタバミ」「ネコノメソウ」等々見られます。

【日 程】 4月9日(日) 7:00 和邇川河川敷集合

【行 程】 和邇川河川敷=9:00 今畑登山口~10:15 笹峠~11:30 近江展望台~12:00
西南尾根お花畑 12:30~13:00 霊仙山~15:00 汗フキ峠~16:00 今畑
=18:00 和邇川河川敷

【体 力】 ★★★☆☆

【難易度】 ★★★☆☆

【担当・申込】 H部

【締 切】 4月3日(月)

* 悪天候その他でやむをえず中止の場合は前日 8 日午前中にメール連絡します。

〈例会山行案内〉

大峯奥駈道/八経ヶ岳と行者還岳

5月の連休を利用して大峰山脈の近畿最高峰、八経ヶ岳と行者還岳に登りませんか。10数年前に例会で大峯奥駈道を全山縦走しましたが、参加できなかった方や未登の方はご検討ください。まだ少し先の話ですが弥山小屋の宿泊予約が要りますので、早急ですが締め切り日を2月28日(火)とさせていただきます。定員は一応車1台分4名としますので参加できそうな方は早急にお申し込みください。参加申込の状況によっては2台分8名まで受け付けます。但しもし宿泊の予約が取れなければ残念ですが山行中止としますのでご承知おきください。(2月19日の時点ではまだ間に合いそうと言われましたが)

日時 2023年5月3日(祝)~4日(祝)

【行程】 大まかな計画です

3日 大津~行者トンネル西口~奥駈道出合~弥山~八経ヶ岳~弥山小屋(宿泊)

6:00 10:30 (11:00 16:00 16:30)

1泊2食+弁当=9500円

4日 弥山小屋~奥駈道出合~行者還岳~奥駈道出合~行者トンネル西口~大津

(6:00 11:00 15:30 20:30)

装備：小屋泊装備(ほぼ日帰り装備一式でOKです)

食料・水・地図・磁石・雨具・防寒具・ヘッドランプ・着替え・マスク

除菌スプレーなど (ストーブ類や食器はご自由に)

ふとんは用意されていますがシーツやタオルをご用意くださればベターです。

レベル 体力★★★★ 技術★★★★ 特に危険箇所はないようです。

距離：2日間で約22km 時間：約15時間(コースタイムの約1.3倍見えています)

担当者(申込先)：N尾

締切日：2月28日(火)

雨天(予報)中止 中止する場合は早め(4月30日まで)に連絡します。

〈例会山行報告〉

唐 櫃 越

〔日 時〕 2023年1月21日(土)

〔参加者〕 11名(男6名・女5名)

〔行 程〕 集合;JR 京都=地下鉄四条=阪急上桂—唐櫃越え—沓掛山—みずき山—JR 馬堀(解散)

〔記録〕 寒い日が続いている。8:15 京都駅で総勢11名がそろいました。地下鉄、阪急と乗り継ぎ、9:05 上桂駅から本日の唐櫃越例会のスタートです。ちなみに唐櫃とは石棺の意で、古墳から石棺が出土したことが地名の由来とされています。ついでに 唐櫃越にちなんで明智光秀の“本能寺の変”のくだりを一つ。…織田信長から備中高松を攻めている秀吉の応援を命ぜられた明智光秀は亀山城(今の亀岡)から愛宕山へ戦勝祈願と称してお参りに行く。その時光秀は信長の宿泊所である本能寺を攻めるか、信長の云う通り中国攻めに行くか思案していたという。愛宕山で意を決した光秀は翌日の連歌会で「時は今あめが下しる 五月哉」と読み、数日後、光秀は「敵は本能寺にあり」と本能寺を攻める。その際、光秀本隊は山陰道(いまの9号線)を通り老の坂峠を越え、別動隊は亀岡から保津峠を経て嵐山への明智越え、もう一つの別動隊が今回我々が行く唐櫃越えを逆から京へ向かいました。亀岡から京都まで一番北のルートが明智越え、真ん中が唐櫃越え、一番南のルートが老の坂越えだったのです。目立たないように、慎重な光秀らしい作戦でした。…さて、報告に戻ります。

9:30 衣服調整小休止後、小展望所、大展望所で京都市内全貌を眺め、11:10 沓掛山にて早めの昼食休憩。ここまで大した急登もなく、あちこちで話はずんでいる。

11:40 出発。ここからは標高400m前後の小さなアップダウンの繰り返しが本日の最高峰のみずぎ山(430m)まで続く。

13:20 みずぎ山到着。ここで最後の集合写真を撮り、下山開始。かなりの急こう配だが慎重に下り、小一時間で下山口に。町中をぶらぶらと20分でJR馬堀駅到着 14:35。ここでK原CLより解散の挨拶がありました。途中、K藤さんが忘れ物をして戻ったり、A本のストックが折れたりと色々あり、お天気も雪が舞う時間帯がありましたが、雨具をつけることもなく、5時間半のハイキングは無事終了しました。

ここからはK原例会のお楽しみ、15:24 京都駅到着後乾杯会場へ。
楽しいひとときを過ごしました。 (記録)A本

【一口感想】

JR、地下鉄、阪急と乗り換え、絶対に一人では来れない！

途中、雪が舞うこともありましたが、展望台からは京都が一望でき、水曜日に登った愛宕山も見えました。本能寺に攻める際、夜にこんな道をわらじで通ったなんて、昔の人ってなんてタフ。登山靴でハイキング出来る現代人に生まれて良かった。..歩いたご褒美にビールも美味しく頂けるし。せっかくの歴史街道をこんな気持ちで歩いていました。

リーダー、ごめんなさい。

H 浦



<個人山行報告> 権現山～ホッケ山～小女郎ヶ池 ピストン

日時 2023年2月5日(日) 天候：曇り小雪～晴 風弱い

参加者：2名 CL:N尾 S藤

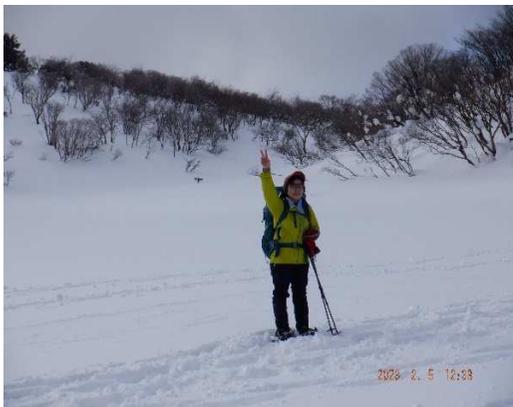
行程 約10.5km 約7時間半

大津7:00～駐車地点7:55～霊仙山口(権現山登山口)8:20～ズコノバン9:20～権現山10:15～ホッケ山11:05～小女郎ヶ池11:53～12:34(昼食)～ホッケ山13:15～権現山13:55～権現山登山口15:30～駐車地点15:42～大津17:00 帰宅

天気予報が良いので急に思い立って比良のメジャーな縦走コースを歩いてきました。10日前の大雪で車が登山口まで行けるか心配でしたが、やはり手前までしか進めず、少し戻って林道脇に駐車しました。登山口からのトレースはしっかりあって助かります。ズコノバンからアイゼンをつけたがやや凍てた個所があり初日の出山行時より歩きづらい。第一目標の権現山からも縦走できそうなので数年ぶりにワカンを付けて小女郎峠を目指す。景色悪くても結構登山者は多い。ゆっくり目に想定していたよりは少し早く着き小女郎ヶ池まで行って昼食休憩。初めて池の上を対岸まで歩けました。帰りの小女郎峠からは好展望が広がっており伊吹や鈴鹿の山々がよく見られました。特にホッケ山からの展望は素晴らしかったです。コースタイムの1.5倍ほど時間を要し、蓬萊山までは行けませんでした。積雪が多い比良を満喫できて上々でした。

(一口感想) 権現山登山口手前から雪量が増していました。登山開始から12時前に小女郎ヶ池に到着するまで、周囲はガスっていましたが、次第に青空も見え出して小女郎峠～ホッケ山～権現山までの帰りの稜線歩きは眺望抜群でした。40～50cmの雪の中、アイゼン・わかんもフルに使った最高の雪山山行でした。 S藤

小女郎ヶ池の上にて



<初級登山教室山行報告>

雪山入門『大谷山』

日程： 2023年1月14日（土）

講師及びスタッフ：T内オフトレイル）、N森（オフトレイル）、K口（滋賀山友会）

受講生：T本（滋賀山友会）、S口（滋賀山友会）、S水（比良雪稜会）、N村（比良雪稜会）、S藤（比良雪稜会）

行程： マキノピクランド駐車場集合 10：00～登山口 10：10～標高 680m地点 12：50 昼食～

下山開始 13：30～14：30 下山終了=マキノ高原温泉白谷荘で修了式

講習の内容：雪山登山

当日の天気予報は雨天で午後から次第に雨が上がってくる予報であった。午後からの天気回復を期して出発時間を遅めにして、小雨の中でのスタートとなった。

電気柵の入口がある登山口からはいきなりの急登で、地面は地肌むき出しで雪はない。標高 320m ほどのところで雪が現れだした。受講生 5 人は、先頭を 20 分交代で、現在地を地図で確認しながら進んでいった。雪は次第に深くなり、登山靴で歩くとズボッと雪面下に落ち込み、一步一步大きく足をあげないと前へ進めない。雪があると無いとでは進み方が雲泥の差だ。すぐに息もあがり汗びっしょりになる。標識やテープももちろん踏み跡も雪に埋もれているところが多く、ルートも見失いがちになるので、周りの景色を注意深く見ながら進んでいった。予定よりずっと時間がかかり、当初の予定の標高 704 地点石庭下山口…大谷山…寒風…西山林道出合…マキノ高原温泉というルートを大きく変更し、標高 680m 地点からのピストンにルート変更せざるを得なかった。

下山後はマキノ高原温泉白谷荘で初級登山教室の 2022 年度の修了式が執り行われた。記録：S 藤

【一口感想】

出発時は小雨模様でしたが登山中はほとんど雨に降られることは無く、最終到達した標高 700m 弱の地点では約 60 cm の積雪がありました。春のような温かさで琵琶湖も霞んでいましたが無事、最終の実技が実施できてほっとしています。雪山は通常の無雪期より時間を要し、雪の状態も様々です。雪の積もり具合、地形や傾斜、過去か

ら当日までの天気コンディションや積雪の安定度が左右されます。雪山も奥が深いので雪崩のメカニズムを学習し、道具の使い方に習熟してください。

全般を通じての感想です。

4月から1月まで1年近くの初級登山教室を無事終えました。実技は全て実施し、事故無く終えられたことに感謝です。試行錯誤の連続でしたが受講生の皆さんは得るものがあったと思います。私を含めたスタッフも色々と勉強になり、改善すべき点多々あったと考えています。

また、初級登山教室はこの4月からスタートします。今年は内容を絞って、実技は少しステップアップして実施したいと思っています。会員の皆さんの意欲的な受講を求めます。また、手伝っていただけるスタッフを募集します。実地でアドバイスをすることで自分の力量の確認と向上につながります。よろしくお願いします。(T内)

雪山のリスクは、場所ではなく条件によって決まります。たとえば、雪崩はこれまで発生したことがない場所だから安心というわけではなく、気温・地形・風・雪の質等の条件が揃えば、どこでも発生する可能性があります。もし何事もなく帰って来られたとしても、たまたま運がよかっただけ、ということもありえます。ですから、幅広い知識と十分な準備を持って、山に入ってくださいと思います。

スタッフを引き受けるということは、受講生のみなさんに怪我をさせるわけにはいかないので、かなりの緊張を伴い、1年ともなれば思った以上の負担になります。それでも最後まで続けてこられたのは、みなさんの熱心な受講姿勢のお陰だと思っています。みなさん自身も、最初に比べれば格段に進歩されたと思います。また、僕自身は「教える」というほど特別な技術は持っていませんが、それでも何かを伝えるということは、1点の曖昧さもない完全な知識を持っていなければなりません。間違っただけは1つも言わなかったと思いますが、その点でも自分自身の知識を再確認するよい機会になりました。今後は、みなさんが、ご自身で1から計画を立て、最初から最後まで全て自分の責任で山に登られるようになることを期待しています。(N森)

一年間皆様お疲れ様でした。受講生の皆さんは不安な気持ちで、学科・実技と取り組まれたと思いますが、スタッフとして参加させて頂いた私も不安な所が有りましたし、勉強になる事も多々ありました。実技に関して一度も中止は有りませんでした。天候が良くない回もあり100%楽しめなかった事も有りました。そんな中でも何か一つでも、やってみようかな、興味があるなと言うのが有れば深掘して挑戦していただきたいと思います。今回締めめの雪山講習でしたが、まだまだシーズンですので、

トライして楽しまれてください。夏山に関しても、どこかの山で出会えることを楽しみにしています。（K口）

一月にしては珍しい暖かさと雨天の中、大谷山の雪山山行は、濡れた落ち葉とぬかるんだ登山道、ズボズボと踏み抜く腐った雪であまり経験したことのない悪条件の山行になりました。

しかし、歩き始めてしばらくすると雨も上がり、それはそれで残雪期のような風情で、柔らかい雪に足を取られながらプチラッセルのような体験もでき、標高が上がってくると眼下に雲海を観ることができたりと楽しさも味わうことができました。山頂に到達はできなかったけど、昼食時に雪崩のピットチェックの方法（コンプレッション）を教えてもらい、以前教わった「シャベルずり法」と違うやり方も参考になりました。

今年度初級登山教室の座学・実技に参加して基礎的な事をいろいろと教えていただき、山行の時に初心に立ち戻る貴重な経験ができたと思っています。講師・スタッフの皆さん一年間どうもありがとうございました。（T本）

雪山＝遭難、ラッセル、しんどい・・・のイメージ。朝からの小雨と相まって、気持ちはどんより。普段より荷物も多く、装備もえらく大層だ。さらに天候や雪の状態は注意深く察知し、道具装着の判断も重要となる。しかし、登るうちに雪の感覚や冬ならではの山の凜とした気配が心地よくなった。無積雪時よりも危険が増し、体力の消耗も激しいが、雪山には雪山にしかない面白さがあることに少しだけ気づけたことは幸せだ。雪山初トライの未熟な私を導いてくださり感謝です。さて、1年間の登山教室が終わってしまいました。振り返れば多くのことを教えていただき、体験させてもらいました。どれも楽しかったのですが残念なことに、横文字の道具の名前や地図読みはしばらくやらないだけですでに怪しい。繰り返し体得していくことで、やっと自分のものになるということですね。自分のことで精いっぱいでしたが、指導者の方々が常に私たちの安全に気を配られていたか今更ながら気づき、感謝の気持ちでいっぱいです。

年を重ねて普通いろんなことをしまっていく時期に、「岩」「川」「雪」・・・どんどん新しい扉を開いてしまいました。でも皆さんにお出会いできて、何歳からでもワクワクしていいかと思えました。またご一緒していただける機会がありますように。本当にありがとうございました。（S口）

最後の実技、天候は良くなかったが、時間を遅らせるなど工夫をしてくださって実施することができた。順にリーダーとして前を歩くことになったが、水分を含んだ雪で先頭を歩くとズボズボとはまってしまい、トレースもないのでなかなか進むことができなかった。

今回はアイゼンやわかんなどを使うことはなかったが、冬山は装備も多く重たくなり行動時間がかかるため、より体力が必要になる。ふかふかの雪、きらきら光る樹氷…雪山はきれいで楽しいがリスクも高くなる。安易に行動するのではなく、しっかりした指導を受け十分な準備や情報を得、無理のない柔軟な計画が求められると思う。

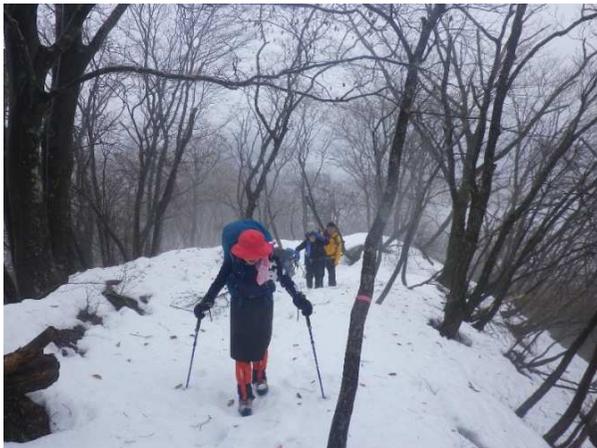
一年間、座学で知識を得、実技講習でいろいろな経験をすることができた。なかなか覚えられず技術はすぐには身に付かないが、常に危険が伴うという事を頭に置き、安全に山が楽しめるようにしたいと思う。一年間、大変お世話になりありがとうございました。(S水)

受講生が先頭を順番に歩いた。すぼすぼ沈んでしまい、いつも以上体力を使い、踏み跡のない雪道の歩きづらさがよく分かった。また、下ばかり見て歩いたので道を間違えた。周りをしっかり見て歩かないといけないと思った。

4月から1月にかけて登山技術と知識を習い、いろいろな経験をさせていただきました。ありがとうございました。学んだことを活かして安全な登山を続けていきたいと思います。(N村)

雨天という悪条件のなかでの講習となりましたが、雪中行動の困難さ、厳しさを体験させられた山行となりました。先頭を受講生が順番に任せられ、自分の番のたった20分ほどの歩行が、大変困難で気持ちばかりが焦りました。先頭の大変さを身をもって知る機会となりました。

私は中途受講でしたので、他の受講生の方ほど頑張っていないのですが、それでも、沢登り、クライミング体験と今までできなかった体験を沢山させてもらいました。もうこれ以上は無理だと思いかけた時に叱咤激励し、手を取り足を取り、行く方向を示して貰えたからこそ、やりきることが出来ました。その時々目いっぱい頑張れたのは講師さん、スタッフさんあってこそ。滅多にない素晴らしい体験でした。(S藤)



2022年度第11回 運営委員会報告書

出席：N村、A本、N野（記録）、K林、I井、H浦、T中
欠席：K藤、F野、H野、K嶋、I東

場所：和邇コミュニティーセンター第3会議室、

日時：2023年1月26日（木）19時30分～21時00分

1. 第44回比良雪稜会定期総会の準備

1) 議案書の準備

- 各担当者から出された議案書（案）：第1号議案、第2号議案、第3号議案についてそれぞれ確認を行った。変更箇所については、変更した原稿を2/12（日）までに中野まで送付する。
- 2/14（火）にN野より確定議案書を会員全員にメール配信する。

2) 定期総会案内の往復はがきへの印刷と出欠確認

- 2/2（木）に定期総会案内を往復はがきにて、運営委員を除く会員全員に発送する。

3) 総会での議長・選挙管理委員の候補

議長および選挙管理委員に関してはほぼ確定した。

2. 各担当より

- リーダー部、遭難対策・技術アップ、機関誌、HP、会計、労山基金、事務局：特になし
- 自然保護：1/18（水）にN村会長とK藤氏で滋賀県琵琶湖環境科学研究センターを訪問面談（企画係主査）し、昨年分の飲み水水質調査のデータを渡した。データの要否・扱いについては、専門の研究員が検討すること。

3. 県連報告

1) 第9回理事会（ZOOM併用）は1/11（水）に実施された。内容は3/5の定期総会に関する議題と3/5午前中の講習会に関する件が殆どだった。

2) 初級登山教室のスタッフとしての参加を呼び掛けている。

- 自然保護部のT中T範氏より「余呉・南越前ウインドファーム事業の公聴会」に関する報告があり、事業への反対や強い危惧感が表明された。

3) 次回、第10回理事会（ZOOM併用）は2/1（水）に実施予定。

4. その他

- 交通費は35円/kmです。
- 会員動向：現会員数43名。（2月より42名となる予定）

次回 第12回運営委員会は2月14日（火）19時30分からです。

2022年度第12回 運営委員会報告書

出席：N村、A本、N野（記録）、K林、K藤、I井、H浦、T中
欠席：F野、H野、K嶋、I東

場所：和邇コミュニティーセンター第3会議室、

日時：2023年2月14日（火）19時35分～20時50分

1. 第44回比良雪稜会定期総会の準備

1) 議案書の準備

議案書の最終確認を行って、確定議案書を作成した。N野より確定議案書を会員全員へ2/14にメール配信した。

2) 定期総会への出欠確認の往復はがきは2/2（木）に運営委員以外の会員に発送し、現時点で20名の出席と9名の委任状を受け取っている。会員42名の半数以上であり、定期総会は成立致します。

3) 総会での議長はI村氏、選挙管理委員はK藤氏に決定した。

4) 議事運営マニュアルを作成し、2/16（木）までに議長・選挙委員・会長・司会者に配布する。

5) 定期総会での議事録書記について、出席した運営委員からの申し出が無かったため、F野氏かH野氏にN野より依頼する。

6) 忘年会前に寄贈頂いた地図・書籍を、総会当日に事務所からコミセンに運び（N村・K藤）、総会会場に並べ希望者に自由に持ち帰ってもらう。
会旗も合わせて運ぶ。

7) 当日13時の開場時には入口で手指消毒のみを行い、検温は実施しない。

2. 各担当より

- ・リーダー部、遭難対策・技術アップ、機関誌、HP、労山基金、事務局：特になし
- ・会計：引継ぎがあるので、前期会費の振込用紙は3月に発送する。
- ・自然保護：滋賀県琵琶湖環境科学研究センターへ提出した水質検査データについて、その後の検討結果を電話で問い合わせたところ、「現在、その地域は研究フィールドに入っていないので、参考にさせてもらうことは無い。只、3年ごとに研究フィールドを見直していることから、将来、研究フィールドに入れば、比良雪稜会さんの水質調査データが参考にされる可能性は考えられる」とのことであった。

3. 県連報告

1) 第10回理事会（ZOOM併用）は2/1（水）に実施された。内容は3/5の定期総会に関する活動報告とその確認が殆どであった。3/5午前中の講習会は座学で読図が中心であり、参加費は500円。

岳友会の M 田理事が体調不良の為に退任し、後任は T 中 T 男氏。

2) コンパニオン・レスキューに関して K 藤氏から質問があり、T 中理事がその内容と申し込み方法について K 嶋理事に確認する。

3) 次回、第 2 回代表者会議は 2/15 (水) に実施予定。3/5 (日) は第 47 回県連定期総会を実施する。第 1 回理事会も実施予定。

4. その他

- 交通費は 35 円/km です。
- 2023 年度夏原グラント 3 年目 (継続) の応募書類を作成して、2/2 (木) に郵送で提出した。2/18 (土) にヒアリングが行われ、N 村会長と K 藤氏が出席。3 月末に助成採否の通知がある。
- 滋賀県健康福祉政策課より「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」への参画依頼があり、検討した。その結果、会員増加に繋がる要素があれば参画を検討しようとの事で、A 本副会長が確認することになった。
- 会員動向：現会員数 42 名。(2 月末で 41 名になる予定)

次回 第 1 回運営委員会は 3 月 14 日 (火) 19 時 30 分からです。

《お知らせ》

☆ 前期会費振り込みのお願い ☆

2023 年度前期 (2023 年 2 月～7 月) の会費を納入していただく時期となりました。振り込み用紙をヤマト便で発送致しますので、金額を確認の上、過不足なくお振込みいただきますよう、ご協力よろしく願いいたします。

会計 N 村

《第1回リーダー部会議事録》

日 時 2月19日(日)

場 所 和邇文化センター内 和邇コミュニティーセンター 第4会議室

出席者 H野・N村高・H島・H部・N尾・K藤・N野・G弥・K原・H池

I井

議題1 例会実施状況(ヒヤリハット)

- ・権現山(初日の出): 特になし
- ・武奈ヶ岳(新春山行): 特になし
- ・唐櫃越: 特になし

議題2 3月～6月の例会計画

開催日	山域・コース	テーマ・内容	担当者	レベル	備考	
3月	6日(月)	六甲山系 七兵衛山	観梅と眺望	H池	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★★★☆☆	
	26日(日)	紀見峠～金剛山	ダイトレ縦走 (最終回)	N尾	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
4月	9日(日)	鈴鹿 霊仙山	福寿草	H部	体力 ★★★★★ 技術 ★★★☆☆	
	16日(日)	飯道山～大納言 ～阿星山	甲賀トレイル縦走	N尾	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	23日(日)	水沢峠～鎌ヶ岳 ～武平峠	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	29日(土・祝)	八ヶ峰	春の野点	N村	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	公開山行
5月	3日(水・祝)～4 日(木・祝)	八経ヶ岳 行者還岳	大峰山系	N尾	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	14日(日)	武平峠～御在所岳 ～根ノ平峠	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	
	21日(日)	能郷白山	岐阜・福井 県境の山	N野	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
6月	4日(日)	南比良2コース	清掃登山 (クリーンハイク)	N村 K藤	体力 ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆	
	11日(日)	根ノ平峠 ～釈迦ヶ岳	鈴鹿縦走	H島	体力 ★★★★★ 技術 ★★★★★	

【夏山予定】8月4日～6日 立山～大日岳～称名滝(アルプス入門) 担当者: I東

議題3 野点山行について

4月5日または19日に下見予定

議題4 清掃登山

実施コース 1コース: 坂下～小女郎ヶ池～打見山

2コース: 栗原～権現山～打見山

次回のリーダー部会議は、4月18日(火)です。

第 44 回比良雪稜会定期総会議事録

日時：2023 年 2 月 19 日（日）13 時 30 分～16 時 45 分

場所：和邇コミュニティーセンター 会議室 4 及び会議室 5

議事録：F 野 K 郎

1. 開会宣言（N 野事務局長）

会員数 42 名のうち出席者 28 名 委任状 14 名 合計 42 名で総会が成立することを宣言

2. 会長挨拶

新型コロナウイルスについては、昨年は 3 年ぶりに忘年会を催すことが出来、第 8 波も収まりつつある。3/13 からはマスク着用も個人の判断になることや 5/8 からは季節性インフルエンザと同じ 5 類扱いになる予定で、更に集まりやすくなって活動がしやすくなる。3 年間出来なかった夏山合宿も計画されつつある状況。

皆さんの忌憚のない意見を出して頂き有意義な総会となることを望みます。

3. 議長選出

- ・議長の立候補を募るが立候補者はなし。
事務局案として I 村 K 治氏を議長に提案し満場一致で承認。
- ・I 村氏より議長挨拶
“議長に推薦されました。ご協力お願いします。”

4. 選挙管理委員選出

- ・選挙管理委員の立候補者なく、事務局より K 藤 F 男氏に依頼し承認を得た。
- ・K 氏より新役員立候補者募集について休憩時間内に立候補の申し出をお願いした。

<これより議長により総会議案書に沿って議事進行>

5. 議事

1) 1 号議案（2022 年度総括及び活動報告と決算報告）の審議

配布済の議案書に沿って下記議案を報告

- ・2022 年度総括 (N 村会長)
- ・運営委員会活動報告 (N 野事務局長)
- ・労山山岳事故対策基金・登山時報 (K 林事務局次長)
- ・機関誌活動報告 (I 井事務局次長)
- ・HP 活動報告 (I 東代 N 野事務局長)
- ・自然保護活動報告 (K 藤事務局次長)
- ・2022 年度県連活動報告 (T 中利彦県連理事)
- ・リーダー部活動報告 (H 野リーダー部長)
- ・装備品点検のところでワカンが 1 つ足りない。返却をお願いします。
- ・技術アップ・遭難対策担当報告 (K 嶋代濱野リーダー部長)
- ・2022 年度決算報告 (H 浦会計担当)

・ 監査報告

(M 藤 監査担当)

2023 年 2 月 5 日 監査をした。会計上問題はなかったことを報告。

< 質疑 >

(質問) 個人山行届は出されていると思うがその数は把握しているか？

(回答) 特に把握していない。(リーダー部長)

(質問) 会として個人山行を推奨しているのであれば、回数、行った山、誰が行ったかを把握すべきでは。

(回答) とてもそうする余力はない。又個人山行はそこまで把握する必要はないと思う。(リーダー部長)

(意見) 誰が行ったかなどを記録で残すことはプライベートのことで出来ない。

(まとめ) 回数程度の把握にとどめる。

(質問) 公開山行での参加者にもっと入会を勧めるべきではないか。

(意見) 毎年参加している友人がいるが強く言えない。言えば来なくなることも考えられる。

(意見) 体験参加者に体力的に無理のない山行を行う必要あり。

(会長) 当会は積極的な働きかけで一般参加者は他会に比べかなり多い。リピーターも多いがしつこく入会を勧めることは逆効果となる。

(まとめ)

入会したいと思ってもらえるような山行計画を示すなど工夫が必要。

会長より・・・知り合い(特に比較的若い方)を誘ってもらい、何回か参加してもらおう中で入会に結び付くのがよい。

(意見) 雨で例会が中止になった場合、延期開催を考慮してもらえないか。

(まとめ)

その件はリーダー部会でも話合われている。担当リーダーの判断で考慮する。

(意見) オフトレイルは新たにできた会か。

(回答) 県連ニュースの中に山の会オフトレイルの発足記事がある。小さく“旧彷徨倶楽部から新しく生まれ変わりました”と記されている。

(質問) 議案書 3 ページの運営委員会活動記録の中で比良飲み水調査・放射線測定が入っているが掲載する必要は無いのでは。

(回答) 以前は例会ではなかったなので、その名残で記載している。来年からは掲載しない事にする。

(意見) ステップアップ登山講座が主宰者の彷徨倶楽部 A 田氏が辞めたので、今年実施されるかは不明である。彷徨倶楽部はオフトレイルに名称変更された。

(意見) 3 月 5 日に開催される県連定期総会でステップアップ講座の実施希望を雪稜会から出せばどうか。

採決:1号議案は出席者全員の挙手で承認された。

- 2) 2号議案（新役員選出と新旧役員挨拶）
2023年度役員選出（K藤選挙管理委員）
- ・立候補者はなし。
 - ・事務局案（下記の通り）で承認

承認された2023年度役員と専門部役員（敬称略・*印は新役員）

【役員】

会長	N村	T行
副会長	A本	K和
事務局長	N野	T光
事務局次長	K林	T子（労山基金担当）
	K藤	Hみ（自然保護担当）
	*F川	T郎（機関誌担当）
	I東	S二（ホームページ担当）

会計	*N村	Y子
会計監査	*H浦	A子

【県連役員】

理事（候補）	T中	T彦	K嶋	F男	F野	K郎
当会代表者	N村	T行				

【専門部役員】

リーダー部	部長	H野	Y治
	副部長	K嶋	F男（遭難対策・技術アップ担当）

会計監査を除く上記役員で運営委員会を構成する

採決:2号議案は全員の挙手で承認された。

- ・旧役員へのお礼
- ・旧役員の挨拶
I井事務局次長（機関誌部担当）、H浦事務局次長（会計担当）
- ・新役員の挨拶
F川事務局次長（機関誌部担当）、N村Y子（会計担当）、H浦A子（会計監査）

- 3) 3号議案（2023年度活動方針と予算）の審議

配布された議案書に沿って審議された。

活動方針の発表

- ・2023年度方針 (N村会長)
- ・事務局活動方針 (N野事務局長)
- ・機関紙活動方針 (F川事務局次長)

- ・自然保護活動方針 (K 藤事務局次長)
- ・リーダー部活動方針
組織体制で Y 本氏、I 村氏は退任、I 井氏加入
- ・技術アップ・遭難対策担当活動方針
- ・2023年度予算

<質疑>

- (提案) 公開山行時入会金を半額にするなどのキャンペーンをすればどうか。
公開山行時入会申込用紙を渡す。
- (意見) 何回も来ている友達に入らないかとは言いにくい。
- (意見) そのような(勧誘)呼びかけはしているがその後のつながりが無い。
- (意見) 今後の山行の予定や夏山の予定など魅力ある計画を示しては。
- (意見) 公開山行後に体験参加できるような山行のレベルを考えて用意しておくべきでは。これに関しては運営委員会で検討する。
- (提案) リーダー部長 来年度からは個人山行の回数はカウントする。
- (会長) 山行報告は労山基金とのからみもあるが、個人も例会も何かあった場合の対応はとる。
個人山行は回数の把握だけでいいと思う。
- (疑問) ちょっとした低山の山行でも届が必要?
- (回答) 労山基金の給付申請には山行届が必須である。トレーニングのため、決まった山を毎日あるいは毎週登山されている方もあり、都度計画書提出となると出す方も受けて管理する方も大変な労力となり無理なので、全国労山に掛け合うことも検討したい。
- (提案) 比良雪稜会 50周年事業に関して、予算の積み立てを検討すればどうか?
- (意見) 運営委員会において、どのような方法で実施するかを検討する。

採決:3号議案は全員の挙手で承認された。

- 4) その他
審議するその他の議題は出なかった。
6. 議長解任
議事終了・議長退任
7. 閉会挨拶
副会長 閉会の挨拶
8. 閉会宣言
司会者の N 野事務局長より閉会宣言があり、第 44 回比良雪稜会定期総会は閉会した。



2023年3月予定表

1	水		19	日	
2	木		20	月	
3	金		21	祝火	春分の日
4	土		22	水	「ぶな」原稿締切
5	日		23	木	
6	月	例会山行 六甲山系七兵衛山	24	金	
7	火		25	土	
8	水		26	日	例会山行 ダイトレ縦走 紀見峠～金剛山
9	木		27	月	
10	金		28	火	
11	土		29	水	
12	日		30	木	
13	月		31	金	
14	火	第1回運営委員会	編集後記 コロナも少しおさまってきてるようです。皆さんが集まって編集できる日が楽しみです。		
15	水				
16	木				
17	金				
18	土				
4月の予定					
9	日	例会 鈴鹿霊仙山			
16	日	例会 飯道山～大納言～阿星山			
23	日	例会 鈴鹿縦走 水沢峠～鎌ヶ岳～武平峠			
29	土・祝	春の野点 ハヶ峰			
今月号と来月号の当番					
今月号は I井(CL)・Y本・M藤・K田・K林・T中・K村の皆さんです。					
来月号は I井(CL)・Y本・M藤・K田・K林・T中・K村の皆さんです。					



滋賀県勤労者山岳連盟

比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>